写真 93	普通ポンプ車

普通ポンプ車

多様化する消防活動に対応するため、各種資器材の積載能力を増大させたセミボックス型の車両で、電動を含め 2 台のホースカーを装備しています。

水槽付ポンプ車

火点直近に部署し、早期に放水態勢（クイックアタック）を整えるため、容量 2,000 Ｌの水タンクを装備するとともに、軽量ホースカー、各種資器材等を装備しています。

写真 94	水槽付ポンプ車

写真 95	化学車

化学車

危険物火災へ対応するため、容量 1,500 Ｌの水タンクと容量 150Ｌの泡剤タンクを 2 槽設けるとともに、泡剤混合装置や車上から泡放射可能な放水銃を装備しています。

小型ポンプ車（ホースカー付）

狭隘道路地域における消防活動に対応するため、車両の小型化を図り、最小回転半径を小さくした車両で、軽量ホースカー、各種資機材等を装備しています。

写真 96	小型ポンプ車（ホースカー付）

写真 97	山岳救助車

山岳救助車

山岳救助活動時に使用することを目的とした車両で、フロントバンパー内側に電動ウインチを装備し、車両屋根にバスケットストレッチャーが積載可能なルーフラックを設けるとともに、各種活動用資器材を装備しています。

はしご車

高層建物での火災等に対応するため、30ｍの４連はしご装置を有する車両で、許容荷重2,700Ｎ（定員3名）のバスケット装置、伸縮水管、リモコンノズル等を装備しています。

写真 98	はしご車

写真 99	救助車Ⅱ型

救助車Ⅱ型

交通事故等の各種救助事象に対応するため、多種多様な救助資器材を積載した車両で、ウインチ装置、発電装置、昇降式照明装置等を装備しています。

救急車

各種救急事案に対応するため、救急隊員が傷病者に対し車内で必要な処置を行うことができる十分なスペースを確保するとともに、ストレッチャー、防振架台及び各種救急資器材を装備しています。

写真 100	救急車

写真 101	特殊救急車

特殊救急車

感染症の疑いのある傷病者の搬送及び搬送中の救急処置を目的とした車両です。

運転室と傷病者室の間に高気密の開閉式隔壁及び陰圧装置を設け、傷病者室内の汚染された空気を殺菌してから車外に排出するとともに、重体重用ストレッチャー、防振架台及び各種救急資器材を装備しています。

消防活動二輪車

高速道路及び山岳地域等において、二輪車の機動性を活かし、いち早く災害現場に到着し対応するため、可搬式消火器具、簡易救助器具等、各種必要な資器材を装備しています。

写真 102　消防活動二輪車

写真 103　消防艇（ありあけ）

消防艇（ありあけ）

船舶火災や河川での災害にも対応可能な化学消防艇です。

高所から放水することと、喫水線上高さを低く抑えることを両立するため、放水塔及びマストを起倒式としています。

放水砲を 4 基、毎分 30,000Ｌ以上放水可能な消防ポンプを装備しています。

消防ヘリコプター

上空からの消火活動、救助活動、情報収集や救急患者搬送を行う高出力中型ヘリコプターです。

オートホバリング（自動空中静止）機能や救急用担架装置を備えるとともに、容量 1,800Ｌの消火用タンクを取り付けることができます。

また、地震被害判読システムを有しており、機上で撮影した静止画と災害所在地を地図上に貼りつけて特定することが可能です。

写真 104　消防ヘリコプター